

四季の風



■発行責任者/病院長 豊田 秀徳
■編集 集/大垣市民病院広報・企画委員会

広報 第89号

●発行 令和7年1月1日●

CONTENTS

COPDという病気をご存じでしょうか ……P1
心房細動治療の新しい選択肢 ……P2

地域連携医療機関紹介 ……P3
採血、採尿された検体はどこでどのように検査されているかご存じでしょうか? ……P4

診療部 専門医が教える家庭の医学

COPDという病気をご存じでしょうか

ぜひ早期発見、早期治療を

呼吸器内科 副院長 安藤 守秀

COPDとは

COPDとは以前私達が慢性気管支炎、慢性肺気腫、などと呼んでいた病気をまとめたもので、何らかの原因で気管支や肺胞（酸素を取り入れるための袋状の構造）が破壊され、肺の機能が低下し、呼吸困難感や慢性的な咳、痰がらみなどの症状が引き起こされる病気です（図1）。

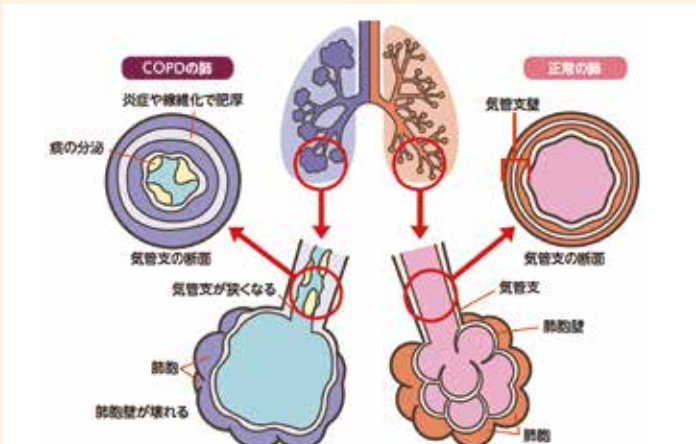


図1. COPDの成り立ち（出典元：厚生労働省『スマート・ライフプロジェクト』）

COPDはいろいろな原因で生じますが、圧倒的多数は喫煙が原因です。COPDは喫煙者の15～20%に生じます。喫煙率の低下に伴いCOPDの方は減少傾向にありますが、今も呼吸器疾患の中で最も患者数の多い疾患の一つです。しかしCOPDに罹患されている方の中で実際に病院にかかっておられる方は全体の数十分の一程度と言われています。このように病院受診率が低いのは、この疾患の進行がゆっくりで気づきにくいこと、COPDという病気自体が余り知られていないことなどが原因として挙げられています。



目標達成のための日本呼吸器学会の取り組み



図2. COPDの啓発と死亡率低減にむけてのキャンペーン（日本呼吸器学会ホームページより）

このため現在、厚生労働省および学会ではCOPDの認知度を上げ、またこの疾患による死亡率を下げるためにキャンペーンを展開しています（健康日本21（第三次）/木洩れ陽2032）（図2）。また大垣市では平成24年度から特定健診にCOPD検診を組み入れてこの病気の早期発見と啓発に努めています。

COPDの症状と経過

COPDは長い時間をかけてゆっくりと進行します。当初は全く症状がないか、軽い咳、痰程度ですが、喫煙を始めて30～40年目あたりから気管支の通りの悪化のために思うように息ができなくなり、急いだり重い荷物を持ったりすると息切れが生じるようになります。息切れは次第に悪化し、やがて階段や坂道が辛くなり、さらには普通に歩くだけでも途中で立ち止まらなければならないようになります。多くの方がこのあたりで病気に気づき病院を受診されますが、この時点では既に肺の働きは半分程失われています。さらにこの頃になると風邪を引くたびに咳や痰がらみが長引き、呼吸困難感も強く感じられるようになり、病院受診を余儀なくされるようになります。

病気が進行すると呼吸困難感のために日常生活が大きく制限され、また痩せが進行し体力の低下も目立つようになります。酸素の取り入れも次第に悪くなり、酸素吸入が必要な状態にもなります。体調を崩して入院することも次第に頻回となり、いよいよ状態が崩れていきます。

早期発見の大切さ

COPDでは失われた肺の働きの取り戻しは困難で、大きく肺の働きが損なわれる前にきちんと肺の手入れをしていくことがとても大切です。喫煙者、あるいはこれまで煙草を吸ったことのある方はぜひ肺機能検査で肺の働きをチェックしましょう。最近では職場健診などでも肺機能検査を選ぶことができます。また大垣市では特定健診にCOPD検診が組み込まれていますので、対象者の方はぜひご利用ください。もちろん当院でも検査を受けることができます（図3）。

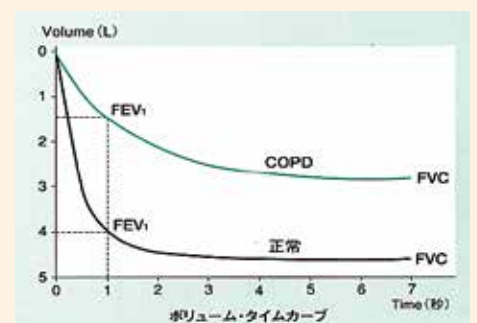


図3. 肺機能検査。COPDでは吐く息（呼気）の流速が低下し、最初の1秒間に吐ける息の量（一秒量、FEV₁）が小さくなります。

COPDの治療

肺の働きに障害がみつかったら喫煙中の方はまず禁煙をしなければなりません。これは一番大切なことです。また早期から薬剤（気管支拡張剤やステロイド剤）の吸入を始めることも経過を安定させるためにとても大切です。

呼吸困難感を軽減し、また病気の進行に伴う体力の低下を防ぐ



図4. 呼吸リハビリテーション
リハビリ室では様々なトレーニングと療養指導を受けることができます。

ためには日頃の鍛錬と栄養がとても大切です。COPDでは風邪などによる体調の崩れ（増悪）が経過に大きな影響を与えます。増悪を防ぐための日常生活管理も重要です。当院ではこうしたことについてリハビリテーション室で専門の理学療法士から指導を受けることができます（図4）。

冬を乗り切るために

冬場はインフルエンザや風邪が流行します。このためCOPDの方にとっては体調を崩しやすい季節となります。ぜひ体調管理には注意をしてください。インフルエンザなどの予防接種はもちろん、うがい、手洗いもこまめに行いましょう。また日頃から体温、痰の量や性状、息切れの度合いの記録を習慣づけましょう、普段と異なるサインが生じた場合には慎重に体調を観察し、崩れる傾向があれば指示された薬を正しく服用して状態の悪化を防ぎ、また必要に応じて病院受診も行いましょう。ぜひそうして冬をしっかりと乗り切ってください。

心房細動治療の新しい選択肢 県内初のパルスフィールドアブレーションを始めました!

循環器内科 副院長 森島 逸郎

心房細動って何?

通常、規則的であるはずの心臓のリズムが完全にバラバラになった状態の不整脈です。症状は、激しい動悸を自覚して救急外来を受診する人もあれば、全く気にならない無自覚の人もいて、様々です。しかしながら、症状の有無にかかわらず、高血圧症や糖尿病を持っている人や65才以上の高齢者では脳梗塞を引き起こす危険があるため、治療対象となります。また、心房細動が続くと心臓の拍出量が減るため、心房がポンプとして破綻して息切れなど出てくる場合もあります。

心房細動の診断は?

診断は、発作時の心電図を記録することで確定します。初期の心房細動では、多くの時間は正常なリズムで心臓がうっていて時折心房細動になるパターンが多いです。このため、心房細動をお持ちでも、すぐに診断されないことはしばしばです。自動血圧計でうまく血圧測定ができない時は、心房細動になっている可能性があります。また、胸部の聴診により不規則なリズムかどうかは概ね分かりますので、かかりつけ医の先生に診てもらうことをお勧めします。最近では、Apple watchなどでも脈の異常の検出ができます。

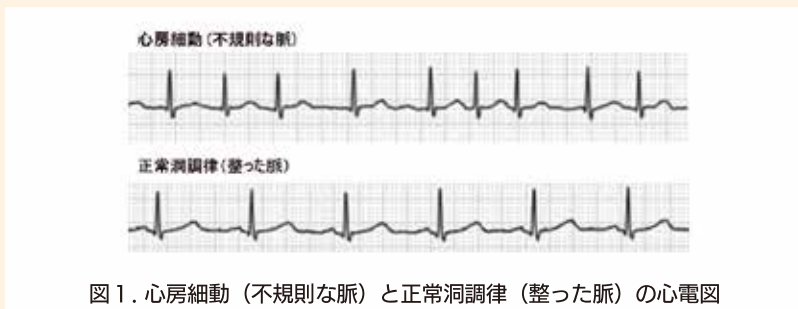


図1. 心房細動（不規則な脈）と正常洞調律（整った脈）の心電図

は心房細動そのものを治す薬ではありません。そこで、現在、世界的に広がっている治療がカテーテルアブレーションです。日本でも年々手術件数は増加しており、2022年に約7万人の患者さんが治療を受けています。大垣市民病院循環器内科では、全国的にも早期となる2002年からカテーテルアブレーションを導入し、現在までに4,000人を超える患者さんを治療してきました。心房細動の原因となる肺静脈を左心房から電気的に隔離することで治療します。既存の方法は、高周波を用いて焼灼する方法と冷凍凝固バルーンを用いる方法ですが、技術の進歩に伴い、局所麻酔下に2時間程度で終了する手術になっています。安全性も格段に高まっていますが、それでも、肺静脈狭窄や食道障害、横隔神経麻痺などの合併症リスクがゼロではなく、常に細心の注意を払って治療を行っています。

パルスフィールドアブレーション

より安全な方法として2024年9月から保険償還されたのがパルスフィールドアブレーションです。従来同様に局所麻酔で行いますが、熱による治療ではなく、治療対象の心筋に高い電圧をかけることで細胞障害を起こす方法です。神経や、静脈、食道などが障害を受けないレベルの低い電圧で治療対象の心筋のみに障害を与えることが可能であるため、安全性が高まっています。また、治療時間も従来の方法より少し短くなりそうです。大垣市民病院循環器内科では、10月から治療を導入し、岐阜県内の先駆けとなっています。日本よりも早く導入された欧州では急速に普及してきており、おそらく日本でも同様の方向に進むことが予想されます。すべての心房細動患者さんがこの治療に適しているというわけではありませんが、当院では、順調に経験を重ねており、今後多くの患者さんにそのメリットを享受していただきたいと思っています。

初期の発作性心房細動を放置すると…

心房細動は進行性の病気です。初めは年1回程度の発作であっても、次第に頻度や持続時間が増えていき、最後には永続性の心房細動となっていきます。初期の発作性心房細動に比べて、持続性・永続性心房細動のほうが脳梗塞リスクは高くなります。したがって、最近では、診断早期から介入して正常なリズムを維持する方がよいとされています。

カテーテルアブレーション

脳梗塞リスクの高い患者さんには、予防のために抗凝固薬という血液をサラサラにする薬を飲んでいただくことが多いですが、抗凝固薬

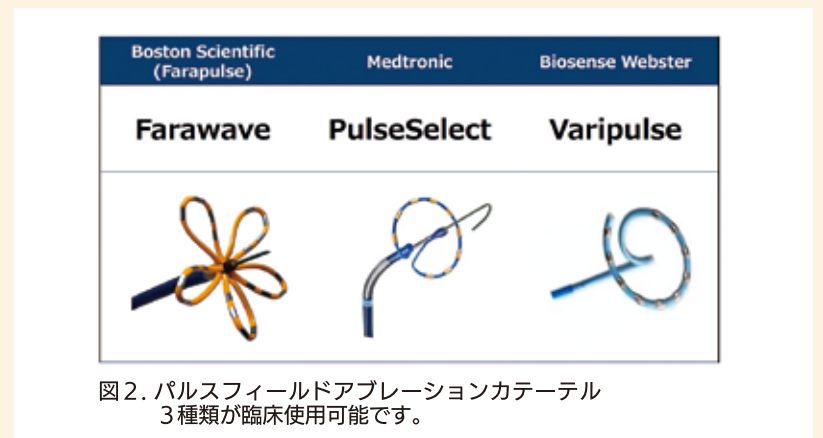


図2. パルスフィールドアブレーションカテーテル
3種類が臨床使用可能です。



地域連携医療機関紹介

たけもとこどもクリニック

小児科

医師
竹本 靖彦 竹本 雅子

〒503-0835
大垣市東前3-4-1
TEL:0584-74-5400



休診日/
日曜日、祝日、水・土曜日午後 土曜日は、午前9:00～午後1:00

診療時間	月	火	水	木	金	土	日
午前9:00～12:00	○	○	○	○	○	○	—
午後3:00～6:00	○	○	—	○	○	—	—



小児科専門医2名で診療を行っております。午前2診、午後1診です。感染症が大半ですが、時に対応できる範囲を超える病気を診ることがあります。その場合には速やかに専門医療機関を紹介させていただきます。

奥田整形外科

整形外科・手の外科・リウマチ科・リハビリテーション科

医師
奥田 敏治

〒503-0856
大垣市新田町1丁目11番地の1
TEL:0584-89-7222



休診日/
日曜日、祝日、水・土曜日午後

診療時間	月	火	水	木	金	土	日
午前9:00～12:30	○	○	○	○	○	○	—
午後4:30～7:00	○	○	—	○	○	—	—



交通事故を除く一般整形外科を中心に診療しておりますが、関節リウマチや手の疾患に力を入れてきました。手の変性疾患の手術は可能な範囲で行っておりますので御相談ください。必要に応じ大垣市民病院との密な連携を図っております。

はやかわクリニック

内科・循環器科・小児科

医師
早川 健司 早川 洋子

〒503-0802
大垣市東町2-7-1
TEL:0584-77-7735



休診日/
日曜日、祝日、水・土曜日午後

診療時間	月	火	水	木	金	土	日
午前9:00～12:00	○	○	○	○	○	○	—
午後4:00～6:30	○	○	—	○	○	—	—



大垣市民病院との連携をしっかりと行い、患者様、ご家族様に安心安全な医療を提供していけるよう心がけています。今後も、日々研鑽をつみ、患者様・ご家族様に信頼して頂けるように努力していく所存です。

大垣バイパス医院

内科・外科・小児科・整形外科・皮膚科・泌尿器科・肛門科・美容皮膚科

医師
小川 隆司 押谷 創
押谷 陽子

〒503-0022
大垣市中野町5丁目419-1
TEL:0584-81-6781



休診日/水曜日、祝日、土・日曜日午後

△は内科・外科のみ診療

診療時間	月	火	水	木	金	土	日
午前9:00～12:00	○	○	—	○	○	○	△
午後3:30～6:30	○	○	—	○	○	—	—



当院は国道21号沿いにあり内科、外科、皮膚科・美容皮膚科などの診療を行っています。皮膚科・美容皮膚科は女性医師及びスタッフが担当いたします。体調でお困りの際にはお気軽にご相談ください。

安八診療所

耳鼻咽喉科・小児科・内科・血液透析・皮膚科

医師
川合 靖水 川合 祥史
川合さなえ

〒503-0115
安八郡安八町南今ヶ淵270-2
TEL:0584-64-3616・0584-64-6572



休診日/日曜日、祝日、水・土曜日午後

診療時間	月	火	水	木	金	土	日
午前8:30～12:00	○	○	○	○	○	○	—
午後4:00～6:00	○	○	—	○	○	—	—



大垣市民病院とは、開業以来約54年に渡り適切なご指導を賜り、患者様が安心して医療を受けられるよう努力し、内科、透析、皮膚科、小児、耳鼻科で頼られる事を目指しています。

伊藤内科・神経科

内科

医師
伊藤 仁 伊藤 元

〒503-0411
海津市南濃町駒野252-1
TEL:0584-55-0045



休診日/
日曜日、祝日、土曜日午後

診療時間	月	火	水	木	金	土	日
午前8:00～12:30	○	○	○	○	○	○	—
午後2:30～6:00	○	○	○	○	○	—	—

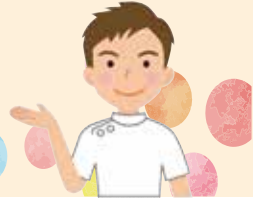


当院は患者様に全人的な医療を提供するよう心がけております。日頃より大垣市民病院、各科にわたり病院連携をいただきながら患者様にとってよりよい医療環境をはぐくんでいくよう努力してまいります。

医療技術部

採血、採尿された検体はどこでどのように検査されているかご存じでしょうか？

診療検査科 中央検査室 臨床検査技師 杉山 直久



採血、採尿された検体は採血室に隣接する中央検査室に運ばれます。中央検査室には一般検査、生化学・免疫検査、血液検査の3つの部門がありそれぞれ担当の臨床検査技師が検査を行っています。これら3つの部門について説明します。

一般検査では、主に尿や便を対象とした検査を行っています。尿検査では自動分析装置を使用し蛋白・糖・潜血の有無や、細胞や結晶、細菌を顕微鏡で観察することで腎臓、膀胱などの病気を調べる検査をしています。また便検査では、目に見えない極微量な血液を見つけることができ大腸がんの早期発見につながっています。そのほか人工授精のための精液検査なども行っています。

生化学・免疫検査では、自動分析装置を使用して血液中の酵素や糖質、蛋白質、脂質などを調べたり、ウイルスや細菌に対する抗体、腫瘍マーカー、ホルモンなども測定しています。

血液検査では自動血球分析装置を使用し、末梢血液中の赤血球数、白血球数、血小板数、ヘモグロビン濃度などの算定や顕微鏡にて白血球分類を行い、貧血・白血病などに

代表される血液の病気を見つける検査を行っています。さらに骨髓（血液が作られる場所）からとられた細胞の分類によってより詳細な情報を得ることができます。他には凝固検査といって止血がきちんと働くかどうか、ワーファリンなど血液をサラサラにするお薬の量を定める検査をしています。

血液や尿の検査は病気の診断、経過観察、治療効果の判定に役立っているだけでなく、最近では血液1滴でがんが見つかったり、遺伝子レベルでの病態を詳細に解明することができたり、新薬の開発につながる治験にも利用されています。

また私たちの検査では、検査結果の品質が保証され、医療の質向上に貢献しているとして臨床検査の国際規格である「ISO15189」の認定を取得しました。

これからも患者さんに質の高い検査結果を迅速に提供し、満足して頂けるよう日々努力してまいります。



病院の理念

患者中心の医療・良質な医療の提供

臨床倫理方針

- 1) 患者の人権を守り、自己決定権を尊重します。
- 2) 患者中心の良質で高度かつ公平な医療を提供します。
- 3) 患者への正確な情報提供と十分な説明を行い、患者同意のもとに信頼される医療を提供します。
- 4) 他の医療機関での医師の意見を求める、セカンドオピニオンに対応いたします。
- 5) 患者の個人情報保護と守秘義務を徹底します。
- 6) 関係法規、ガイドラインを遵守した医療を提供します。
- 7) 生命の尊厳、医療の妥当性に関する問題については、臨床倫理委員会で審議し、治療方針を決定します。

大垣市民病院の基本方針

- ① 地域の基幹病院として、住民の健康と福祉の増進に貢献します。
- ② 患者さんの立場を第一に考え、公正且つ普遍的な医療の提供に努めます。
- ③ 医療安全を推進し、安心して安全な医療の提供に努めます。
- ④ 医学の進歩に沿って病院施設・医療機器の整備や充実を図り、専門的な医療の提供に努めます。
- ⑤ 公共性と経済性を両立し、健全な病院経営に努めます。
- ⑥ 地域の医療機関との連携を保ちつつ、患者さんに信頼される医療活動に努めます。

大垣市民病院臨床研修の理念

- ◎ 社会人としての規律を守り、医師としての自主性と高い倫理観を持ち、思いやりのある人格を育てる。
- ◎ プライマリ・ケアに必要な幅広い診療能力を修得する。
- ◎ チーム医療の一員として、安全・安心・満足の得られる患者中心の良質な全人的医療を実践する。

当院で一緒に働きませんか？

病院職員随時募集中

大垣市民病院では、次のとおり職員を募集しています。

- 職種／正職員：医師、看護師
会計年度任用職員：
看護師、診療放射線技師、医療クラーク、
診療情報管理士、医療ソーシャルワーカー、
看護補助員、医療補助員、病院救命士

大垣市民病院 採用 検索

- 問い合わせ先／事務局庶務課 人事グループ 内線：6139



採用情報



健康増進法に定められた受動喫煙防止対策により、
当院の敷地・駐車場内は**全面禁煙**です。
ご理解とご協力をお願いします。

当院は、臨床研修病院に指定されており、次世代の医師育成のため、上級医の指導のもと研修医の臨床研修及び学生の臨床実習を行っています。

編集後記

「四季の風」は平成15年に刊行し、今号で89号になります。バックナンバー（36号以降）は右記2次元コードよりご覧になれます。次回は4月1日に発行予定です。今後とも多くの皆さまの声をお聞きしながら、読みやすい紙面づくりを目指してまいります。ご意見ご要望がございましたらお気軽にお寄せください。



四季の風
バックナンバー

大垣市民病院広報・企画委員会

〒503-8502 大垣市南瀬町4丁目86番地
TEL(0584)81-3341 FAX(0584)75-5715
https://www.ogaki-mh.jp/
(電話でのお問い合わせについては、お間違いのないようお願いいたします)